

環境経営レポート

2021年度

<活動期間>

2021年10月1日～2022年9月30日



株式会社 弘進

第2版

発行：2022年10月27日

改定：2022年11月18日

《目次》

1. 主な事業内容紹介	・・・2
2. 組織の概要及び登録範囲	
3. 会社紹介	・・・3
4. 環境経営方針	・・・4
5. 実施体制	・・・5
6. 環境経営目標（中期目標）	・・・6
7. 環境経営目標（単年度）と 環境経営計画、その評価	・・・7
・本社	
・相模工場	
・高山工場、高山第2工場	
・(株)弘進 全体	
8. 環境関連法規等の取りまとめ、 遵守状況	・・・11
9. 代表者による評価と見直しの結果	・・・12
10. 次年度以降の活動予定	・・・13



改訂履歴

10/27：新規作成

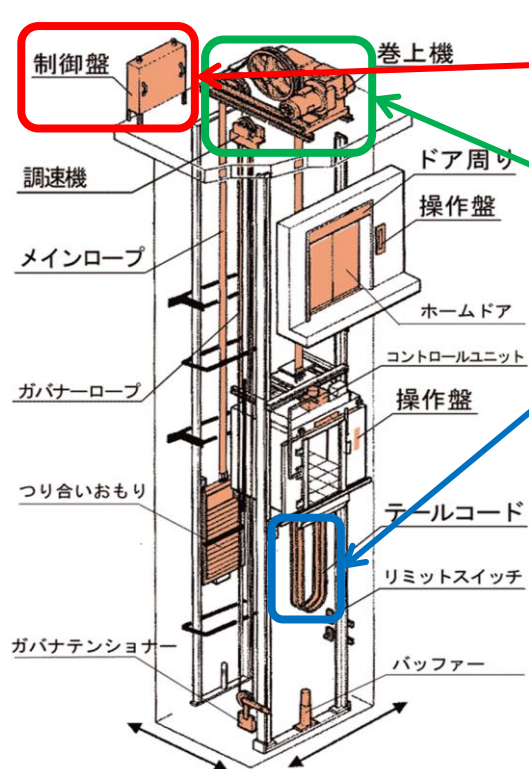
11/18：書類審査結果の反映、記載漏れの
修正

《昨年度からの変化点》

- 1. 環境経営目標、評価基準の見直し**
 - ・日常管理については総量での管理を行い、最終評価については原単位での評価を行います。
- 2. 高山工場取引先の変化**
 - ・高山工場にて新たにフジテック株式会社様のエレベーターハーネス製造を行います。
本年度の結果によって目標値の修正を実施します。
- 3. 環境会議の変更**
 - ・環境経営会議と名称を変更し、月1回のteamsを使用したりリモート会議を中心に活動の進捗状況確認や今後の予定検討、勉強会などを実施します。
- 4. 内部監査の変更**
 - ・環境管理責任者が全ての部門の内部監査を実施し、より精度の高い監査を実施します。

1. 主な事業内容紹介

エレベーター用ハーネスの製造



盤内ハーネス
基板コネクタなどを繋ぐ細かいハーネス。

動力ケーブル
かごを巻き上げる為の動力用ハーネス。
高電圧が掛る為、太い電線が多い。

制御ケーブル
かごと連動して動くハーネス。

その他配線
主に機器同士をつなぐハーネス。

- ・高層、高速化していくエレベーターに対応すべく、電力、信号を各機器へ伝えるハーネスを製造しています。
- ・新設、改修に必要なハーネスを製造しています。



エスカレーター用ハーネスの製造



- ・エレベーターと異なり、加減速や階床の管理が不要な為、シンプルな構造ではありますが三菱電機(株)様のスパイラルエスカレーターや新設、改修に必要とされるハーネスを製造しています。

2. 組織の概要及び登録範囲

《組織の概要》

<会社名> 株式会社 弘進
<創立> 1957年10月1日
<代表者> 坂口 一 (代表取締役)

<資本金> 7,920万円
<従業員数> 88名 (9/30現在)

《EA21代表者》

田屋 健仁 (取締役営業部長)

《EA21対応窓口》

(株)弘進 環境事務局
小森 俊和 (環境管理責任者：高山工場所属)
TEL：0577-62-8955 FAX：0577-35-1591

2010年4月より全組織・全活動を
対象とした取組を行っています。

3. 会社紹介

《国内拠点》



(株)弘進 本社

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-3-6
TEL : 03-6420-0215 FAX : 03-6420-0216

<主な事業内容>
電子部品の調達及び輸出業務

(株)弘進 相模工場

〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台3-4-11
TEL : 042-774-0753 FAX : 042-774-6500

<主な事業内容>
エレベーター用ハーネスの製造



(株)弘進 高山工場・高山第2工場

高山工場
〒506-0057 岐阜県高山市匠ヶ丘201

高山第2工場
〒506-0057 岐阜県高山市匠ヶ丘1-75

TEL : 0577-62-8955 FAX : 0577-35-1255

<主な事業内容>
エレベーターエスカレーター用ハーネスの製造
***高山工場、高山第2工場は一括管理とします。**



《海外拠点》



(株)弘進 タイ工場

(タイ国)

HIDA AYUTTHAYA THAILAND.CO.LTD

Rojana Industrial Park(Ayutthaya)

***EA21登録対象外です。**

《協力会社》

山形工場 (有限会社 サニー電子)

〒999-5102 山形県新庄市大字萩野163番地の1



三澤工場 (株式会社 三澤)

〒194-0036 東京都町田市木曾東3-22-17



《主な納入先》

- ・三菱電機ビルソリューションズ株式会社 (2022年4月より統合、社名変更)
- ・フジテック株式会社
- ・パナソニックホームエレベーター株式会社
- ・日本オーチス・エレベーター株式会社
- ・Slam-Hitachi Elevator Co.Ltd.

4. 環境経営方針

(株)弘進 環境経営方針

<基本理念>

株式会社 弘進（以下「当社」という）は、全社員がお客様に喜んでいただける製品の製造に携わる地球市民の一員として、企業活動のあらゆる面において、地球環境の保全に配慮して行動し、真に豊かな社会の実現を目指して積極的に環境保全活動を未来に継続するよう環境経営方針を下記の通り定めます。

<環境経営方針>

1. 事業を取り巻く状況を考慮して当社の主要製品である、ハーネスの製造が環境に与える影響を的確に捉え、全員で環境保全活動に取り組み、継続的な改善、向上を図ります。

- ・ 短納期化や受注量の変動に対応する為、生産性の向上を図ることで電力や化石燃料などの固定エネルギーの削減に取り組みます。
- ・ 品質の向上に努め、手直しによる部材の廃棄を抑制します。
- ・ 在庫量の適正化に努め、劣化による部材の廃棄を抑制します。
- ・ 不要な印刷を避け、ペーパーレス化による紙使用量の削減に取り組みます。
- ・ 設備のメンテナンスにより故障などによる無駄な部品の廃棄を抑制します。
- ・ 環境に配慮した製品の使用、購入を進めます。（グリーン購入）
- ・ 設備導入時には生産性の高い設備や環境負荷の少ない設備の導入を検討します。

2. 当社の全ての事業において、環境関連法規や規則、その他の要求事項を遵守します。
3. 関係各庁や地域社会とのコミュニケーションを図り、協調して環境保全を推進します。
4. 全社員へ環境経営方針の周知を行い、方針に基づき環境教育や社内活動を行います。
5. この環境経営方針は外部からの求めに応じ公開します。

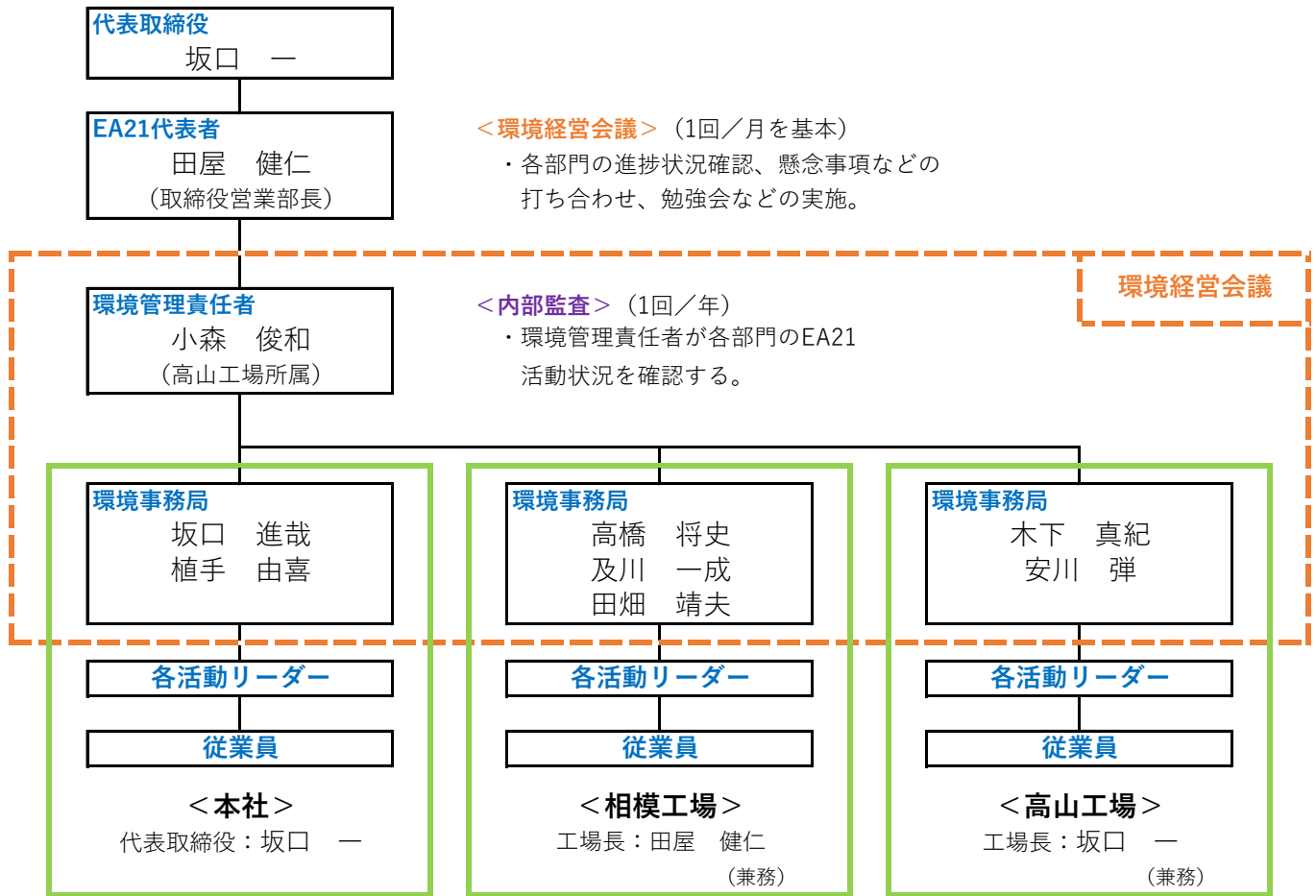
制定日 2018年 7月18日

改訂日 2021年 1月 1日

株式会社 弘進

代表取締役 坂口 一

5. 実施体制



《役割及び責任》

1. EA21代表者

- ・経営における課題とチャンスを確認し、環境経営方針の策定と改訂を実施。
- ・環境経営システムに必要な資源（人、設備、費用など）の準備、承認。
- ・各活動報告に対する評価、見直し指示、承認。
- ・環境会議の開催指示。

・・・取締役より選出

2. 環境管理責任者 【EA21外部窓口】

- ・環境経営システムの構築、運用及び管理。 ・活動状況をEA21代表者に報告。
- ・環境経営会議の進行。 ・審査対応責任者。（審査書類作成、審査員との連絡など）
- ・環境関連法規等の最終確認。 ・環境教育の指示。 ・内部監査の実施。
- ・問題発生時の水平展開などの各部門との調整。

・・・代表者が任命

3. 環境事務局

- ・環境経営計画の作成、実施、評価、改善。 ・各活動の実施フォロー及び記録作成。
- ・環境負荷実績の確認、評価、見直し。 ・環境管理責任者への報告
- ・環境関連法規等遵守状況の確認。 ・環境教育（従業員向け）の実施。
- ・現地審査対応。 ・手順書の見直し、改訂。

・・・各部門にて選出

4. 各活動リーダー

- ・日常管理項目実施状況の確認、評価、環境事務局への報告。
- ・実施スケジュールの打ち合わせ、実施、評価、改善、環境事務局への報告。

・・・活動項目毎、各部門にて選出

5. 従業員

- ・環境経営方針を理解し各活動に対して積極的に参加する。
- ・決められた手順、ルールの遵守、活動の実施。
- ・改善案、意見などを環境事務局、各活動リーダーに報告。

6. 環境経営目標（中期目標）

《数値目標》

* 日常評価(各部門)は総量で確認し、最終評価(全社評価)は原単位での評価とします。

項目	目標種類	部門	基準値 (2019年度実績)		目標値					
					2021年度	2022年度	2023年度			
二酸化炭素排出量 kg-CO2 : kg-CO2/百万円	維持	全社	198,729	127.64	194,096	124.66	194,096	124.66	194,096	124.66
		本社	8,954	20.35	8,899	20.23	8,899	20.23	8,899	20.23
		相模	68,148	286.34	68,133	286.27	68,133	286.27	68,133	286.27
		高山	121,627	138.37	117,064	133.18	117,064	133.18	117,064	133.18
電力使用量 kwh : kwh/百万円	維持	全社	292,188	187.66	283,000	181.76	283,000	181.76	283,000	181.76
		本社	17,104	38.87	17,000	38.64	17,000	38.64	17,000	38.64
		相模	85,953	361.15	86,000	361.34	86,000	361.34	86,000	361.34
		高山	189,131	215.17	180,000	204.78	180,000	204.78	180,000	204.78
ガソリン使用量 ℓ : ℓ/百万円	維持	全社	7,270	4.67	7,280	4.68	7,280	4.68	7,280	4.68
		本社	453	1.03	450	1.02	450	1.02	450	1.02
		相模	831	3.49	830	3.49	830	3.49	830	3.49
		高山	5,986	6.81	6,000	6.83	6,000	6.83	6,000	6.83
軽油使用量 ℓ : ℓ/百万円	維持	全社	11,944	10.69	12,000	10.74	12,000	10.74	12,000	10.74
		相模	9,519	40.00	9,500	39.92	9,500	39.92	9,500	39.92
		高山	2,475	2.82	2,500	2.84	2,500	2.84	2,500	2.84
灯油使用量 ℓ : ℓ/百万円	維持	全社	2,482	2.22	2,490	2.23	2,490	2.23	2,490	2.23
		相模	634	2.66	640	2.69	640	2.69	640	2.69
		高山	1,848	2.10	1,850	2.10	1,850	2.10	1,850	2.10
一般廃棄物排出量 kg : kg/百万円	維持	全社	7,038	4.52	7,100	4.56	7,100	4.56	7,100	4.56
		本社	512	1.16	500	1.14	500	1.14	500	1.14
		相模	2,864	12.03	2,900	12.18	2,900	12.18	2,900	12.18
		高山	3,662	4.17	3,700	4.21	3,700	4.21	3,700	4.21
紙使用量 枚 : 枚/百万円	維持	全社	438,782	281.81	441,000	283.24	441,000	283.24	441,000	283.24
		本社	18,671	42.43	19,000	43.18	19,000	43.18	19,000	43.18
		相模	221,500	930.67	222,000	932.77	222,000	932.77	222,000	932.77
		高山	198,611	225.95	200,000	227.53	200,000	227.53	200,000	227.53
産業廃棄物排出量 kg : kg/百万円	削減	全社	14,282	12.79	13,250	11.86	12,500	11.19	12,300	11.01
		相模	10,752	45.18	10,000	42.02	9,500	39.92	9,400	39.50
		高山	3,530	4.02	3,250	3.70	3,000	3.41	2,900	3.30
水使用量 (総排水量) m ³ : m ³ /百万円	維持	全社	1,604	1.03	965	0.62	965	0.62	965	0.62
		本社	62	0.14	65	0.15	65	0.15	65	0.15
		相模	295	1.24	300	1.26	300	1.26	300	1.26
		高山	1,247	1.42	600	0.68	600	0.68	600	0.68

* 化学物質の使用はありません。

* 原単位は売上高(本社/高山)、加工費(相模)とします。

＜各種係数＞

・高山工場の水使用量目標は基板事業撤退を考慮して減らしています。

電力 : 0.462kg-CO2(東京電力)	電気事業者別排出係数(環境省、経済産業省)より調整後排出係数
0.511kg-CO2(新出光)	R2.1.7公表 : R2.9.16一部追加修正
ガソリン : 2.322kg-CO2/ℓ	特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令
軽油 : 2.619kg-CO2/ℓ	(環境省、経済産業省)資料4より 単位当たりCO2排出量
灯油 : 2.489kg-CO2/ℓ	H27.4.30公表

《その他の目標》

1. 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善

- ＜本社＞ ・まとめ納品などによる搬入頻度削減。
- ＜相模工場＞ ・廃棄ケーブル(有価物)の削減。
- ＜高山工場＞ ・製品の養生について時間短縮に繋がる道具の導入検討。

2. グリーン購入

- ・エコ商品の継続利用、新たなエコ商品導入検討。

3. 環境関連教育の実施

- ・次代のリーダー育成、より高いレベルでの改善活動に向けての従業員教育実施。

7. 環境経営目標(単年度)と環境経営計画、その評価

《本社の環境経営目標及び環境経営計画、その評価》

《環境経営目標及び環境負荷実績》

項目	単位	目標値	実績値	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO2	8,899	7,163	○
電力使用量	kWh	17,000	11,031	○
ガソリン使用量	ℓ	450	890	×
一般廃棄物排出量	kg	500	387	○
紙使用量	枚	19,000	18,769	○
水使用量	m ³	65	89	×

《その他活動報告》

1. 社会貢献活動
 - ・ 会社周辺のゴミ拾い、清掃
2. 内部監査
 - ・ 問題ありません。

《環境経営計画及び評価》

1. 二酸化炭素排出量の削減

① 電力使用量の削減

<施策>

- ・ 不要な照明の蛍光灯を外す
- ・ 勤務時間外は不要プラグを抜く



<評価> 担当：坂口(進)

- ・ 来客も多く夏季、冬季のエアコン使用が多かったが照明のLED化や不要プラグを抜くなど活動しました。

② 化石燃料(ガソリン)使用量の削減

<施策>

- ・ エコドライブの継続
- ・ 効率的な車の運用
- ・ 電気自動車は電気を使用する



<評価> 担当：田屋

- ・ 出張、外出の機会が多くガソリン使用量は増加しましたがエコに配慮した車の運用、エコドライブに努めました。

2. 廃棄物排出量の削減

① 一般廃棄物排出量の削減

<施策>

- ・ 個人廃棄物の持ち込み禁止
- ・ 裏紙再利用、両面印刷励行
再生紙使用の検討



<評価> 担当：三浦

- ・ 人員減少により廃棄物も減少しました。再生紙、裏紙の使用を継続しています。

3. 水使用量の削減

<施策>

- ・ 節水の励行
- ・ POP貼り出しによる意識付け



<評価> 担当：植手

- ・ 来客が多く使用量も増加しました。POP等で意識付けを行い、節水を励行しています。

4. 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善

<施策>

- ・ まとめて納品することで納入頻度を削減する



<評価> 担当：坂口(進)

- ・ まとめ納品を励行し現状を維持しています。

5. グリーン購入

<施策>

- ・ エコ商品の継続利用、新規導入検討



<評価> 担当：三浦

- ・ 針のいらないホッチキスを導入しました。

《本年度総評及び次年度の計画》

環境事務局：植手 由喜

- ・ 本年度は新築マンション関係業者の出入りや猛暑によるエアコン使用の増加の為水使用量、電力使用量の削減が難しかったです。
- ・ 一般廃棄物排出量に関しては退職により常時4名となった為、減少したと思われま
- ・ 来年度からは業者の出入りが少なくなるので数値も安定してくるかと思われま

《相模工場の環境経営目標及び環境経営計画、その評価》

《環境経営目標及び環境負荷実績》

項目	単位	目標値	実績値	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO2	68,133	75,103	×
電力使用量	kWh	86,000	93,199	×
ガソリン使用量	ℓ	830	617	○
軽油使用量	ℓ	9,500	10,522	×
灯油使用量	ℓ	640	1,228	×
一般廃棄物排出量	kg	2,900	3,038	×
紙使用量	枚	222,000	224,335	×
産業廃棄物排出量	kg	10,000	6,570	○
水使用量	m ³	300	251	○

《その他活動報告》

- 1. 社会貢献活動**
 - ・会社周辺のゴミ拾い、清掃
- 2. 内部監査**
 - ・問題ありませんでした
- 3. 緊急事態対応訓練**
 - ・地震を想定した避難訓練
 - ・オイル漏洩の対処訓練

《環境経営計画及び評価》

1. 二酸化炭素排出量の削減

①電力使用量の削減

＜施策＞

- ・不要な電気、エアコンの消し忘れ防止の朝礼等での注意喚起
- ・適切な節電方法、用品の導入検討



＜評価＞ 担当：豊角、長澤、角田

- ・前年度よりもエアコンの使用頻度が増えたため、電気使用量が増加。扇風機の活用により冷房効率を高める等、来期は削減に努めたい。

②化石燃料(ガソリン、軽油、灯油)使用量の削減

＜施策＞

- ・車間にゆとり、加減速の少ない運転
- ・無駄なアイドリングをしない
- ・定期的なタイヤの点検整備 適切な走行ルート



＜評価＞ 担当：土田、清水(陽)、星野

- ・アイドリングストップやエンジンプレーキを行いエコドライブに心掛けました。仕事量、気温の関係で軽油、灯油使用量が増加しました。

2. 廃棄物排出量の削減

①一般廃棄物排出量の削減

＜施策＞

- ・分別の徹底
- ・裏紙、梱包材の再利用の励行



＜評価＞ 担当：鈴木、清水(佳)、伊田

- ・仕事量の増加に伴い廃棄物量の増加しました。分別が曖昧な所は再度意識付けを行い、廃棄量削減に努めます。

②産業廃棄物排出量の削減

＜施策＞

- ・電線の再利用を励行
- ・分別の徹底



＜評価＞ 担当：高谷、石倉、笠原、長崎

- ・仕事量の増加はあったものの、特殊な廃棄等は無く、電線の再利用、分別の徹底を意識し、削減に努めました。

3. 水使用量の削減

＜施策＞

- ・蛇口の閉め忘れが起きないように、朝礼等で注意喚起をする
- ・節水用品の導入の検討



＜評価＞ 担当：吉沢、飯沼、増元

- ・浄水器設置や防火水槽の交換があり、使用量の増加が懸念されましたが注意喚起や水道元栓のチェックなどにより使用量維持できました。

4. 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善

＜施策＞

- ・廃棄ケーブルの削減の励行
- ・朝礼等で工程内不良削減の意識付け



＜評価＞ 担当：及川、高橋(将)

- ・今期は不要在庫の廃棄はありませんでした。

5. グリーン購入

＜施策＞

- ・エコ商品への切替購入を検討
- ・梱包品などのリサイクル、エコ化検討、提案



＜評価＞ 担当：斎藤、星野、田屋

- ・コピー用紙のエコ化・梱包用段ボールの種類の削減を実施しました。引続き、コピー用紙の裏紙の再利用など、積極的に取り組んでいきたいです。

《本年度総評及び次年度の計画》

環境事務局：高橋 将史

コロナ対策の為に電気、ガソリンの使用量が増えていますが産業廃棄物削減は成果を出す事が出来ました。また、コピー用紙のエコへの切り替え、使用ダンボールの見直し、地震を想定した避難訓練など、新しい取り組みを実施する事ができたので、引き続き検討し、実施していきたいです。

今後も日々、従業員に教育等をし、エコ活動の理解を深めて行きたいです。

《高山工場・高山第2工場の環境経営目標及び環境経営計画、その評価》

《環境経営目標及び環境負荷実績》

項目	単位	目標値	実績値	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO2	117,064	101,984	○
電力使用量	kWh	180,000	163,168	○
ガソリン使用量	ℓ	6,000	1,932	○
軽油使用量	ℓ	2,500	1,643	○
灯油使用量	ℓ	1,850	3,944	×
一般廃棄物排出量	kg	3,700	3,815	×
紙使用量	枚	200,000	273,674	×
産業廃棄物排出量	kg	3,250	1,370	○
水使用量	m ³	600	566	○

《その他活動報告》

1. 社会貢献活動

- ・会社周辺の清掃活動

2. 内部監査

- ・一部計画の遅れ、掲示物不備を指摘

3. 緊急事態対応訓練

- ・火災を想定した避難訓練及び初期消火訓練
- ・オイル流出対応確認

《環境経営計画及び評価》

1. 二酸化炭素排出量の削減

①電力使用量の削減

* 基板事業撤退、新型コロナの影響などにより減少

＜施策＞

- ・無駄な電気の使用が無いようにし、不必要な電力の使用を減らします。



＜評価＞

担当：玉舎

- ・不要な機械やエアコンを使わないようにして節電を心掛けることができました。

②化石燃料(ガソリン、軽油、灯油)使用量の削減

＜施策＞

- ・まとめ納品、近隣からの資材調達



＜評価＞

担当：土木(貴)

- ・日常的な車両運行ではエコ運転をし、行き帰りの積載量も一定数確保され全体を通して無駄な移動は減らせたと思います。

2. 廃棄物排出量の削減

①一般廃棄物排出量の削減

* 新規顧客対応で増加

＜施策＞

- ・プレビュー活用によるミス防止
- ・リサイクルによる廃棄削減



＜評価＞

担当：土木(貴)、中屋

- ・出荷用パレットの破損が多く木材廃棄が多くなりました。印刷前の確認徹底で不要な印刷は削減しましたが仕事量の増加の為、使用量としては増加しました。

②産業廃棄物排出量の削減

* 基板事業撤退、新型コロナの影響などにより減少

＜施策＞

- ・不良廃棄品の削減
- 品質改善活動



＜評価＞

担当：安川

- ・品質改善活動を行ったことにより不良率を35%改善させることができ、不良廃棄品排出量を削減することができました。

3. 水使用量の削減

＜施策＞

- ・節水の呼びかけ



＜評価＞

担当：倉本

- ・残業続きだったが使用量が極端に増える事は無かった。引き続き無駄遣いを無くす事で節水をしていきたいです。

4. 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善

<施策>

- ・製品養生の時間短縮につながる道具の導入検討



<評価>

担当：松中

- ・バッグシーラーを導入、養生にかかる時間が1本あたり5秒ほど時間短縮ができました。

5. グリーン購入

<施策>

- ・継続して購入できるエコ商品の選定



<評価>

担当：加藤

- ・今年度は現状維持に留まりました。

《本年度総評及び次年度の計画》

環境事務局：木下 真紀

withコロナ時代に入り様々な条件に柔軟に対応し調達面や注文量も改善がみられ初めています、工程内不良の数値も引き続き改善しており不良廃棄物も削減することが出来ました。燃料費や電気料金などに高騰がみられますので次年度はエネルギー関係を重点的に改善することで環境負荷だけでなく経費節減にも取り組みます。

《(株)弘進 全社の環境経営目標及び活動の評価》

《環境経営目標及び環境負荷実績》

項目	単位	目標値	実績値	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO2/百万円	124.66	93.48	○
電力使用量	kWh/百万円	181.76	135.67	○
ガソリン使用量	ℓ/百万円	4.68	1.74	○
軽油使用量	ℓ/百万円	10.74	9.97	○
灯油使用量	ℓ/百万円	2.23	4.24	×
一般廃棄物排出量	kg/百万円	4.56	3.67	○
紙使用量	枚/百万円	283.24	262.19	○
産業廃棄物排出量	kg/百万円	11.86	6.51	○
水使用量	m ³ /百万円	0.62	0.46	○

《環境関連教育》

1. 従業員向け教育

- ・ESDについて
本社：6/6実施
相模工場：6/20実施
高山工場：5/24実施

2. 管理者向け教育

- ・目標の立て方と評価の仕方
3/23実施

《活動の評価》

1. 二酸化炭素排出量の削減

①電力使用量の削減 ②化石燃料使用量の削減

売り上げ比では達成できており、日々の節電やエコドライブなどの効果が出ていると思います。今後も継続実施していきます。

2. 廃棄物排出量の削減

①一般廃棄物排出量の削減 ②産業廃棄物排出量の削減

廃棄物量も達成できており、各工場での品質改善による不良廃棄削減や廃棄ケーブル削減の取り組み効果が出ていると思います。

3. 水使用量の削減

元々使用量は少ないですが、従業員の皆さんの節水意識の高さが現れていると思います。

4. 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善

各部門がそれぞれテーマを持って取り組んでおります。直接的な効果のあるもの、間接的な効果となるものがありますが、今後も継続して各部門別のテーマに取り組めます。

5. グリーン購入

用紙や梱包品など客先指定の無い品目に限られますが高い割合(90%以上)がエコ商品化されています。現状維持しつつ、使えるエコ商品を探していきます。

《本年度総評及び次年度の計画》

環境管理責任者：小森 俊和

今期は新型コロナの影響も少なくなり、仕事量も増加しました。本年度より一部で原単位評価を行っていますが、社会情勢の変化により材料費、物流費の高騰が発生しており、現在の売上高による原単位評価で良いのか、また原単位と総量評価を項目別に使い分けるなどの検討が課題となります。活動そのものについては今後も継続して日常での維持活動設備、道具等での改善に取り組めます。

8. 環境関連法規等の取りまとめ、遵守状況

改訂状況確認	2022/7/22	小森 俊和
遵守状況確認	2022/9/27	小森 俊和

対象となる法令	条項	確認内容（当社該当内容）	評価
廃棄物処理法 2022/4/1施行	第12条 第2項	産廃運搬までの保管場所（産業廃棄物保管基準） 60cm×60cm以上の掲示板設置	○
	第12条 第6項	委託基準に基づく産廃業者の選定 委託契約確認（契約書：5年間保管）	○
	第12条の3 第1,2,6項	産業廃棄物管理票の交付、保管（5年間） 運搬、処分の確認	○
	第12条の3 第7項	産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出 （毎年4/1～6/30）	○
岐阜県廃棄物の適正処理等 に関する条例 2014/4/1施行	第18条 第1～3項	委託した処理業者の処理能力確認 （優良業者は免除） 不適正処理時の報告	○
相模原市廃棄物の減量化、 資源化及び適正処理等の 推進に関する条例 2020/10/1施行	第11条 第1項	減量化等計画書の提出 （毎年1回、市長に提出）	○
	第12条 第1項	廃棄物管理責任者の選任	○
	第24条 第1項	事業系一般廃棄物を生活環境の保全上支障が 生じないうちに収集・運搬・処分	○
騒音規制法・振動規制法 2021/12/1施行	第6条 第8条第1項	エアーコンプレッサー設置時の届出（7.5kw以上） 変更時の届出（新規設置、変更なし）	○
フロン排出抑制法 2021/4/1施行	第16条 第1項	エアコン簡易点検の実施 （1回/3ヶ月）	○
	第41条第1項 第43条第1～3項	廃棄時は第一種フロン類回収業者への引き渡し、 書面交付、写しの保管（廃棄なし）	○

《環境にも影響のある法規等》

- ・電気事業法（電気保安協会による検査）

《その他努力義務を定めた主な環境関連法規等》

- ・環境基本法（事業に伴う環境負荷の低減の努力義務）
- ・循環型社会形成推進基本法（3Rの取組）
- ・グリーン購入法（環境負荷低減に資する製品・サービスの調達）
- ・地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）
（設備について温室効果ガスの排出が少ない方法での使用。温室効果ガス排出量の見える化。）
- ・環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律
（環境マネジメントシステム等による環境配慮の取組）

- ・環境関連法規等への違反はなく、また関係当局からの違反の指摘もありません。
- ・過去3年間について訴訟もありません。

9. 代表者による全体の評価と見直し、指示の結果

- ・2022年10月24日、環境管理責任者より代表者に活動状況の報告を行い下記の様に評価、見直しの指示を頂きました。

《前回の見直し指示に対する確認》

・・・環境管理責任者：小森 俊和

1. 日常管理項目の進捗管理

リモート会議でもフォローを行い、実施出来ました。来期以降はコメント内容も注視していきます。

2. 環境会議での勉強会について

リモート会議の中で今まで出来なかったEA21運営についての勉強ができました。今後も継続していきます。

3. 客先からのグリーン認定・CSRの取り組み要望について

今期は従業員教育としてESDについて学びました。今後もグリーン認定やCSR、SDGs等について会社全体で取り組みます。

《環境管理責任者による活動の報告、評価》

・・・環境管理責任者：小森 俊和

1. 環境経営目標について

暫定ではありますが原単位評価を取り入れました。評価方法についても検討していきます。

(1) 二酸化炭素排出量の削減

電気使用量や化石燃料についての節減意識は高く感じられます。仕組みや設備で改善を図れる部分は行い、日常管理としては現状維持を継続したいと思います。

(2) 廃棄物排出量の削減

分別はしっかり行われています。不要な廃棄物が出ないよう品質管理にも取り組んでおり、継続していきます。また高山工場では来期、大規模なレイアウト変更を予定しており、その際の廃棄物の分別はしっかりと行うよう指示しています。

(3) 総排水量の削減

元々の使用量が少ない中、節水意識を高く持っています。継続していきます。

(4) 自らが生産、販売、提供するサービスに関する項目

それぞれの部門で考えて取り組んでいます。受注生産の弊社では成果の出しにくい項目ではありますが引き続き取り組みます。

2. 環境経営計画の実施及び運用結果

日常管理項目を毎月評価することにより見える化を行いました。また、リモート会議で進捗フォローを実施しました。今後も継続していきます。

リモートでフォローしておりましたが一部で計画の遅れがありました。今後は担当、管理者双方に注意するよう指示しました。

3. 環境関連法規等の遵守状況

遵守状況に問題ありませんが、一部確認の遅れがありましたので来期は遅れの無いようフォローします。

4. 外部からの環境に関する苦情や要望等

特にありません。社会貢献活動も問題なく実施されています。

5. 総評

リモート会議の実施で各部門間の情報共有が一步進んだ期となりました。

社会情勢は不安定な為、新型コロナ、戦争による物価高騰や部品調達への影響など数値目標での評価が難しいですが活動は止めずに進めていきます。

1. 環境経営目標について

日常管理が主な取り組みとなっていますが、出来る範囲で頑張ってもらいたと思います。特に各担当者は毎月の評価や注意喚起など引き続きよろしくをお願いします。

2. 環境経営計画の実施及び運用結果

一部遅れがあったとの報告を受けています。リモートでのフォローがあった上での事で残念です。来期はそのようなことの無いよう担当者、管理者共にお願いします。

3. 環境関連法規等の遵守状況

引き続き問題無いよう遵守、確認をお願いします。

4. 外部からの環境に関する苦情や要望等

社会貢献活動も問題なく、苦情等もありません。引き続き継続をお願いします。

***環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画、実施体制に見直しの必要はありません。**

《代表者による見直しの指示》

1. 環境経営目標の評価方法検討

今期より原単位評価を導入していますが、全てを原単位評価とすべきか一部を原単位評価とすべきか現状にあった評価方法の検討をお願いします。

2. 環境経営会議のさらなる充実

リモート会議により環境経営会議の回数も増えました。勉強会や進捗フォローなどを行いました。より内容の充実した会議となるよう今後も継続、発展をお願いします。

10. 次年度以降の活動予定

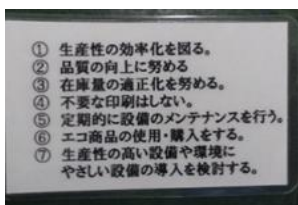
1. 環境経営目標の見直し

総量管理、原単位管理についての検討、高山工場の取引先の変化、社会情勢の変化等を考慮した環境経営目標の策定を行います。

2. 高山工場レイアウト変更

高山工場において大規模なレイアウト変更を予定しています。廃棄物の増加はありと予想されますが、分別はしっかりと行います。断熱材工事も予定しており、冷暖房効率上昇を期待しています。

活動紹介



環境経営方針（簡素化&カード化）

環境経営方針をよりわかりやすく簡素化し、カード化して従業員に配布しました。

環境経営方針の意識付け、内容理解に役立っています。

（相模工場から全社水平展開）

パックシーラー導入

製品の梱包に使用することで作業時間の短縮を図りました。業務改善により間接的ではありますが残業等による電気使用の抑制等に効果を期待しています。

（高山工場）



節水・節電表示

節水や節電意識向上のため各所に表示を行っています。不要なスイッチのOFF等の日常的な活動は高い意識を持って活動出来ています。

（写真は本社 全社で活動しています。）